

太子の長屋門の特徴が見えた!?

上林ルミ・神頭千智・高橋美佐子
兵庫県（リ）ティーマネージャー

まちあるきで訪れた長屋門は老原、常全、福地地区の計32軒。外観を眺めながら「ここは厩かな?」などと間取りを想像したり、何軒かは中を見せていただき、昔の様子を熱く語って頂いたり、楽しいイベントになりました。



切妻造
約7割が切妻造で、残りは入母屋造。すべてが瓦屋根で、1割程度に本瓦葺きが残っていた。



下は金属(トタン)
上部は9割が漆喰塗、下部は板と金属が半々。以前は板張りだったが腐食が進んで金属に改修したと考えられる。老原・常全は金属製、福地は焼杉板張りが多かった。

特徴



トイレの汲み取り口
窓がある空間を部屋とみなすことにすると、半数以上は部屋だった。汲み取り口が残っている場所はトイレとわかる。門の横で不自然に途切れてしまったものや、壁がなく車庫に変身したものまでいろいろあった。

屋根

用途

向き

各地区で大きく差が出たのが長屋門の向いている方向。老原は南6・西4、常全は東4・西3・南1、福地は南12・東2とバラバラ。長屋門に面した道が老原・常全は南北方向に長く福地は東西方向に長いのか? 老原に東向きがないのはなぜ? 不思議な結果に。



楽しかった! と、うれしい参加者の声も。
太子地区の母体であって昔の家が多くあるエリアを歩き、細部にわたって勉強させてもらいました。
目的を持ったブラ散歩が楽しかった! 機会があればまた参加したい。
すばらしい企画! 郷愁のみならずまちづくりを考える機会となれば。

門のまわり編

まちあるきで見つけた小さな発見。よく見るといろいろありました!

昔の鍵
屏の真ん中にある小さな穴が鍵穴! 見えるかな?

潜戸めっちゃ細い!
この細さを入りやすいように、ジムに通うより体型維持に効果的かも

祝日は国旗掲揚
国旗掲揚は、日の出から日没まで、雨の日は掲げない、向かって左側に掲げるのが基本

ペンガラさんが通る
軽化第二鉄を主成分としたペンガラは防虫・防菌効果があるため、木材保護剤としても多用されてたよ

小屋裏は竹がざっぴり
竹は軽く丈夫で加工しやすい手が入りやすいので、他の材との微調整も容易で立てるのにも使用されているよ

引き戸の潜戸発見!
潜戸は開き戸が多い中、引き戸発見! どうやって中に引き込まれるのか内側が見てみたい~!

鬼瓦に般若面
縁起のいい七福神の鬼瓦は数あれど、これは、かわいい子どものこっくり顔! 健康祈願が子孫繁栄かな

笑う門には福来る
縁起のいい七福神の鬼瓦は数あれど、これは、かわいい子どものこっくり顔! 健康祈願が子孫繁栄かな

軒樋が青竹~!
見上げたら、青銅製と思われる軒樋に竹の節風見! なんて風流・流し素麺にも使えんかな

桃じゃなく宝珠だよ
桃も縁起ものだけど、宝珠は願い事を何でも叶えてくれる願望成就の意味あり

飾り瓦に扇
扇は平安時代に伝来した延命の長寿の花なので長寿祈願かな? 茎までデザインされていて面白い

菊は平安時代に伝来した延命の長寿の花なので長寿祈願かな? 茎までデザインされていて面白い

屋根編

ナガヤモン?

社会福祉法人あすか会
岡本 功

きしめんがいくら美味しくても、やっぱり攝保乃糸の方が好き。ひつまぶしって美味いかもしれないけれど、ちょっと贅沢。穴子の方が身近だしね。モーニングがボリューム満点と言われるけれど、太子の喫茶店だって負けてはいない。「ナゴヤモン」について書けと言うのが私のミッションなのですが、名古屋の事はあまり知らない。新しい物や便利な物に飛びついてしまう。それはいかんのです。

え? 「ナゴヤモン」ではなく、「ナガヤモン」について書くのですか、これは失礼。「名古屋もん」ではなく「長屋門」について書くのですね。なるほど。

長屋門と言うのには歴史があって、もともと侍さんの屋敷にあったそう



門をあける

長谷川香里
納屋工房

大学生のころ、門を開けて部屋でゴロゴロしていたら、帰ってきた父にひどく怒られた記憶がある。髪もとかさずお化粧もせずパジャマのままの私は「人が来て困るやん」と言っただけ、「人がおるときは、もんは開けてくもんや!!」と言いつけられた。

今回、編集会議の流れでわが家の長屋門を使ってみることにしました。みんなの協力で、納屋の扉を開けて、厩や井戸の埃を払い、ものが片付き、空気が通って、新しいことを受け入れる準備が整いました。そして、そこに、それぞれのやってみたいの乗っけたら... なんとどびっくりするようすてきな空

い石で押し止める。とてもアナログな仕組みで簡単に開閉でき、夜には国道の車の音とライトから、台風ときには暴風から守ってくれたりする。

いま、かつて怒られた父はもうないけど、できるだけ家にいる時は門を開けるようにしています。門を開けているということは、ウェルカムです! と伝えること。いつのまにか野菜やお花が井戸端に置いてあってうれしくなることができる、うれしい暮らしです。

編集後記

今号もおつきあいいただき、ありがとうございました!

ヘリマネチーム
町外住民の私からは、太子町と言えば斑鳩寺の印象しか無かったのですが、長屋門をキーワードとして数時間歩いただけでも、歴史豊かな景観をたくさん見る事ができ発見でした。今後、長屋門の巷歩き調査を行なった記録が残せたら、歴史的建造物の保存と同じように、文化継承となるのではないかと感じました。
高橋 美佐子
小林 知子

siita 編集室
ほとんどお手伝いできませんでした。学生時代の幽霊部員として過ごした、あの肩身の狭い放課後の気分です。次回は復活するぞ~!
岡本 功

実家にもある、あの門にナガヤモンという名前があるのだと知って驚きました。飽きるほど見ていたし、毎日出入りしていたのに。身近なモノの名前調べを始めてみようかな。
重末 素子

長屋門が多くあったのは狭くて奥まった道。村の中に入り込んだ道もまた、太子の魅力だなと実感。
長谷川 香里

参加者さんが長屋門を見つけ謎解きを繰り返す内に脳内の知識が溢れ出て鏡舌かつ笑顔になられて「たのしい太子」を実感!
上林 ルミ

田舎育ちの私は、「長屋門」なんて普通過ぎるやんと思ってた。いやいやどうして、奥は深かった!
松浦りつ子

この冊子を通じて、一人でも多くみなさまに「たのしさ」が届きますように!

「たのしい太子」へのご意見・ご感想などはこちらへ。気になるネタもお届けください! siita@nayakobo.com

スマホのカメラをむけるとアドレス入力をしなくてもメールが書けます▼



太子がすきな人たちがつくるフリーペーパー

なんにもないけどココがすき

太子のしいたいし

HYOGO TAISHI

秋の太子 老原・常全・福地を歩く
長屋門を見に行こう!

専門家・ヘリテージマネージャーに聞く
長屋門ってなんですか?

背景にだって、なれちゃうんです
コスプレと長屋門

まちを歩いて気づいたあれこれ
太子の長屋門

カナダ人のマーロンさんに長屋門を見てもらいました
外国人とみた長屋門

太子の知られざる魅力、なのかもしれない!

長屋門総力特集

冬晴れの日に
長屋門をつかってみた。

ヨーロッパのアンティークとの競演
納屋の空間を使ったプロジェクションマッピング
中庭での食と音楽

令和5年度 太子町提案型協働事業 令和6年3月25日発行 発行人: siita 編集室 (代表 長谷川香里)

長屋門って、なんですか?

上林ルミ・神頭千智・高橋美佐子
兵庫県（リ）ティーマネージャー

長屋門は、諸大名が自分の屋敷の周囲に家臣などを住ませるための長屋を建て、その一部に門を設けたものがはじまりと言われています。

江戸時代中期 ▶ 江戸時代後期 ▶ 明治時代以降

城郭や陣屋門、武家屋敷門として生まれる
庄屋を勤めた農家、町年寄などの町家や寺院にも普及
一般農家に普及

武家屋敷や侍屋敷では、門と並んで見張りのための番所や、仲間部屋と呼ばれる家臣や奉公人の住居があった。
番所はなく、主人のお供で来た侍が待機する侍部屋や、納屋、厩などがある。泥棒や農民一揆から家を守る際にも役立った。
農作業のしやすさや防犯の他、厩や厩を母屋から離すことで類焼から守る目的もあったとか。



農家型長屋門の特徴

太子型?

門を挟んで一方に居住空間が作られ、トイレや五右衛門風呂があることも、反対側は農機具を置いたり、農作業のための納屋が多かった。小作人を寝泊まりさせたり、機織(はたお)りや養蚕部屋として用いた居住空間は、やがて隠居部屋や貸家として利用され、離農や子世代の転出、主屋の増築などで居住性が薄れ、今では物入や未利用が増えている。

ヘリテージマネージャーの3名は、山崎町と姫路市在住。彼女らの「長屋門、太子にたくさんあるよね」から企画がスタートしました。

農家型長屋門が多く残るエリアに 実際に足を運んで特徴を探しに行くことに...

今回のテーマ「長屋門」は、具体的に存在するものがあるので、これまでの活動とはちょっと違って、研究チームみたいな様相。ただ、夏の暑い期間は、外に出て現地を見に行くのは大変なので、まずは地図アプリを活用して町内に残る長屋門探し。こんなふうに残っている地区が。しかも1箇所だけでなくたくさんあるようです。

そこで、秋になって涼しくなったら、まちあるきがてら見に行くことにしました。一緒に行きたいという人も見つかったので、ちょっとしたイベントに。ただ、どこも民家なので、写真撮影をしたり勝手に入ったりはしないように、調査シートを作って特徴を確認していくことにしました。

に、自宅にいなが町の中を歩いている感じです。図書館で聞いて、太子町史の付録の古い地図に残る地区を重点的に調べたところ、長屋門があちこ

秋の太子 長屋門をみるまちあるき
令和5年11月23日 実施

